

個人質問

危機管理と市民との協働、
農業・観光・商業の成長戦略について

やちまた21

林 政男



危機管理について

問 大規模災害に対する危機管理体制について伺う。

市長 災害発生時には、予防・救急復旧対策等の迅速な対応が求められるため、関係機関や職員の緊急連絡網の整備や参集体制の確立など、初動体制に努めております。

問 小中学校でもAEDの講習が必要と思われるが実施状況は如何か。

教育長 八街消防署の救急隊員を講師に、市内の幼稚園及び小中学校の全教職員を対象とした救急法の実技講習会を、毎年水泳指導が始まる前の5月に中学校区ごとに会場を設けて実施しております。

講習会の内容をAEDを用いた心肺蘇生法の実技講習とし、AEDを使用する際の手順を確認する機会となっております。

NPO法人とボランティアについて

問 NPO法人と連携して市政運営に当たるべきと考えが如何か。

市長 現在、花いっぱい運動、里山整備、八街市放課後子ども教室等の各種事業をNPO法人の協力を得ながら行っております。

問 今後は、市民協働という観点からも、今まで以上に各種団体との連携に努めていきたいと考えております。

問 ボランティア活動の現状認識について伺う。

市長 ボランティア活動の事務局は、社会福祉協議会の中のボランティアセンターで行っております。ボランティアグループとして登録している数ですが、平成22年4月1日現在で69団体、約1千400人が登録されているとのことあります。

八街をいかに売り込むか

問 八街ブランドの開発状況は如何か。

市長 現在、市内の落花生加工・販売業者により新商品「落花生豆腐の素」の開発を進めている状況です。

そのほか、今年度は市内でパン用小麦の試験圃場を県との連携により設置し、約830キログラムの小麦を収穫しましたが、この小麦を活用し、落花生を取り入れた創作パンの開発も関係者の協力をいただきながら検討しているところです。

問 これらの商品のレシピ等を公開して、八街で落花生を使った料理のコンテストなどを行う考えはないか伺う。

経済環境部長 落花生についてアンケート等から、コメントとして寄せられたものがありますので、レシピ等を作成してまいりたいと考えております。

個人質問

市民が望む政治と財政再建、
子育て環境の充実と整備について

古場 正春



市民が望む政治について

問 行政と市民が協働し、市民のための街づくりを望むが如何か。また若い世代やお年寄りが住みたくなる魅力のある街づくりを望むが如何か。

市長 9月5日には市民を対象とした「協働のまちづくり市民講演会」を千葉大学の関谷先生を迎えて開催し、7月1日には、関係各課の職員からなる「八街市協働のまちづくり職員研究会」を立ち上げ、本市における協働に関する事例・課題等についての調査・研究や協働のあり方・協働型事業等について検討を行う予定です。

財政再建について

問 無駄を削減し、財政再建を望むが如何か。

市長 予算全般について節減合理化を推進するとともに、歳入の確保、施策の厳選に努め、各種施策については、必要性、費用対効果、緊急度、市民サービスの水準の適正化等に十分留意しつつ、限られた財源を重点的、効果的に配分しながら財政運営を行っているところです。

市長

総合保健福祉センターとスポーツプラザ体育館の一室を市役所の業務に支障がない範囲で開放しているほか、実住保育園と私立風の村保育園に設置している子育て支援センターでは、各種親子ふれあい行事を、他の公立保育園等では園庭開放をそれぞれ実施しております。

また、「八街市次世代育成支援後期行動計画」の基本施策の中に、「子育てを支援する生活環境の整備」があり、この中では、安心して外出できる環境の整備として、すべての人が安心して利用できるよう道路や公共施設等利用しやすい街づくりの推進、安全・安心な街づくりの推進として、通学路等、安全で歩きやすい道路環境の確保を図るとともに、安心して生活できる環境づくりの推進などを掲げております。

子育て環境の充実と整備

問 子どもが安全で安心して遊べる環境づくりを望むが如何か。

※その他の質問

- ◆文書管理 ◆子ども手当 ◆公職選挙法について